

発行 長野医療生活協同組合

〒380-0814 長野市西鶴賀町1570 TEL(026)234-1476 FAX(026)234-1493

E-mail:chiiki@healthcoop-nagano.or.jp

ホームページ:http://www.healthcoop-nagano.or.jp

●現勢(2017年3月21日現在)生協組合員…6万4386人 出資金…15億7947万円

# みんなの医療

事業所

長野中央病院  
南長池診療所  
稲里生協クリニック  
老人保健施設ふるさと  
徳間デイサービスたんぼぼ  
三本柳デイサービスミント  
戸倉デイサービスゆいっこ  
グループホーム栗田ゆうゆう

長野中央介護センターつるが  
在宅総合ステーションながの  
(ケアマネジャー・訪問介護)  
訪問看護ステーションながの  
つるがりハビリセンター  
ショートステイつるが  
高齢者住宅つるがの風

## どの子どもにも 心はずむ新学期を！

3月4日、「子どもの貧困」を考える学習講演会（反貧困ネット長野主催）が長野中央病院東館で行われました。50人が参加し、子どもたちの厳しい状況に涙しながら聞き入る人もいました。また、子どもたちの悩みにどうこたえれば良いか話し合うなど、問題を身近に感じる講演会となりました。

### 声なき声に寄り添った公立小学校の取り組み

初めに、元伊那北小学校教員の小山治男先生が「子どもの貧困と学力の保障」と題して講演しました。

### 「苦しさ」 つむぐ保護者

2008年のリーマンショックにより、多くの企業が派遣社員を解雇しました。伊那地域は日系



学用品交換会に寄せられたランドセルなど

ブラジル人などの外国籍の派遣労働者が多く、深刻な状況となりました。小山先生が「貧困による生活苦」に直面したのは、年末の個人懇談会。子どもの話の前に「苦しいです」とつむぐ保護者がいました。学校長に報告して行われた実態調査では、30人の学級のうち13、14人が困難を抱え、しかも「子どもより先に親が崩れて」いる実態がわかりました。

### 子どもの生活と 学習にいわせ

給食を食べているのに2か月で1.7kgも体重が減る、2時間目に気持ちが悪くなる：朝食などがとれていないからです。

「朝食調査をしても4年生以上になれば、食べていなくても手をあげません。保健室に行かせると養護の先生が、校長先生が買っていただいたカツプうどんや給食の残りで作ったおにぎりをそつと食べさせました」  
増える忘れ物、減る家庭学習。不安定な経済状態のしわ寄せを子どもたちが一身に背負っていました。

### 引け目なく平等に 学べる学校を

「義務教育は無償」とは名ばかりの日本。伊那北小学校では「指導しやすい」ことを理由にした、文具や算数セットの一括購入、学年ごとに色違いのジャージ、1組1台のバス旅行等を見直し、どの子にも引け目を感じさせずに、豊かな体験を保障する工夫をしました。

「貧困」から  
子どもたちの  
未来を守ろう



「子どもの貧困」を考える講演学習会

学校長が地域に向けて制服や学用品の提供を訴えた手紙は大きな反響を呼び、地域の意識が変わっていききました。

### 入学準備金を 前倒しで支給

行政も変わりつつあります。これまで就学援助制度の入学準備金は5、6月の支給でした。しかしそれでは新学期準備ができないと市議会に働きかけ、2月に支給されるようになりました。県下では3自治体で実施されています。

引き続き長野大学の鈴木忠義准教授が講演しました。2015年に長野県が実施したひとり親家庭の児童などを対象にした「子どもの声アンケート」の結果を紐解き、経済的理由で将来のことが考えられない子どもの多さを指摘しました。

3月26日には学用品交換会（反貧困ネット長野主催）が行われました。たくさん学用品が寄せられ、関心の高さがうかがえました。声なき声に寄り添う運動を今後もすすめていきます。

（編集委員会）

### 長野医療生協 第62回通常総代会開催

日時：6月11日（日）午前10時～午後3時30分  
会場：長野市若里市民文化ホール（ビッグハット北隣り）

### 第23回南長池診療所健康まつり

日時：5月21日（日）午前9時30分～午後1時30分  
会場：南長池診療所  
内容：医療講演、健康チェック、舞台発表、模擬店、福引き

### 待合室

昨年末、東京都美術館で「ゴッホ ゴッギャン展」を観てきました。ゴッホが「ゴッギャン」をアルルに呼んで2人の共同生活が始まります。ゴッホが「ゴッギャン」の来るのを楽しみにしていた様子が、「ゴッホの寝室」を描いたことでよくわかります。▼激論も交わしたそうですが、お互いに刺激しあい素晴らしい作品が生まれてゆきました。共同生活は2か月余りで終わり、ゴッギャンはタヒチに帰り数々の作品を残しました。ゴッホの死後、彼が好んで描いたひまわりの種を取り寄せ、ゴッホを思いながら「肘掛椅子のひまわり」という作品を残しています。▼絵が好きで好きで、他人が何を言おうと独特の世界を造ってゆく、友情で結ばれたこの2人が羨ましい。サマセット・モームの『月と6ペンス』は安定した生活を捨てた画家の生涯を題材にしていますが、ゴッギャンがモデルと言われています。(M)